

鳥取港振興会 ニュース

港湾だより82号

(令和8年10月発行)



写真:鳥取港福(こうふく)フェス2026 (令和8年5月)
鳥取港に海上保安庁巡視船「おき」、海上自衛隊護衛艦「やはぎ」、貨物船寄港

INDEX

- 令和8年度鳥取港振興会総会
- 鳥取港福(こうふく)フェス2026
- 海運セミナー 2026
- 鳥取港主要航路切替の進捗状況
- クルーズ客船寄港情報!
- 鳥取港クリーンアップ作戦
- 「2026賀露白いか祭り」開催
- RPF初移入
- 全国クルーズ客船誘致受入連絡会参加

発行:鳥取港振興会

令和8年度鳥取港振興会総会

令和8年5月26日(火)に、鳥取市内の白兔会館において、55の会員団体、企業等のうち、12の団体、企業等の代表にご出席いただき、委任状提出の36の会員を合わせ、総計48の会員により、令和8年度鳥取港振興会総会を開催しました。

総会では深澤会長(鳥取市長)の議事進行のもと、令和7年度事業報告及び歳入歳出決算について、また、令和8年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について審議をいただき、議案はいずれも原案のとおり承認されました。

報告事項では、鳥取県県土整備部河川港湾局港湾課より、令和7年度に海運への機運醸成や新たな海運利用者の掘り起こし、県内港湾の利用促進を目的に、荷主企業や物流事業者等を対象として開催された、「海運セミナー 2025♪海運で開運♪～もうひとつの輸送手段～」についての報告がありました。また、港湾の機能・役割・重要性を周知し、災害の備えを考えるきっかけを促すとともに、港湾の利用促進と賑わいづくりを目的として令和8年5月16日(土)に開催された「鳥取港福(こうふく)フェス2026」について報告がありました。鳥取港福フェスは、令和7年度に鳥取港重要港湾指定50周年記念事業と併せて実施された事業ですが、令和8年度も引き続き2年連続の開催が報告されました。



【令和8年度事業計画概要】

(1) 貨物誘致活動

- ・鳥取港背後圏企業の鳥取港利用の掘り起こしや船社及び鳥取港の利用が期待される企業に対して利用を働きかける。
- ・関係機関、団体との情報交換や連携等により鳥取港の利用拡大を図る。
- ・鳥取港活用による産業振興に向けて、定期コンテナ航路就航の可能性、鳥取港の活用等を探る。
- ・鳥取港を活用した海運への機運醸成を図るため、事例紹介等によるセミナーを開催する。

(2) クルーズ客船誘致活動

- ・鳥取県の令和5年度「鳥取港クルーズ客船入出港に係る航行安全調査」及び令和6年度「鳥取港入出港船舶運用マニュアル」改訂に伴い、寄港可能となった5万総トン級のクルーズ船を含め誘致活動に取り組む。
- ・関係機関と連携を図り、新たな観光地の掘り起こしや新たな観光メニューの造成に努める。
- ・船社等との商談会やセミナー等に参加し、最新情報等の収集する。

(3) 調査研究事業

- ・港湾の機能や利便性向上、利用促進に向け、他港の取り組みや関係業界等の情報収集を行い、研修会等への参加を通じ港湾利用に対する理解を深める。

(4) 人的交流推進事業

- ・関係機関、団体等と連携・協力し、港の賑わいづくりに繋がるイベントに取り組み鳥取港の振興、活性化を図る。

(5) 会員交流事業

- ・貨物誘致活動事業と連携し、海運活用のビジネスモデルの紹介等を行う海運セミナーや鳥取港の視察等により、海運への関心喚起・機運醸成、会員の意見交換等の交流を図る。

(6) 情報発信事業

- ・鳥取港振興会ニュースの発行等により、活動状況等の情報発信を図る。

鳥取港福フェス2026開催 来場者約7千人

鳥取の海の玄関口、災害時の要所となる「鳥取港」の役割や機能を広く知っていただき、災害への備えや港湾利用促進、賑わい創出を目的に「鳥取港福（こうふく）フェス2026」が令和8年5月16日（土）に開催されました。港福フェスでは、警察・消防・海上保安庁・自衛隊・港湾管理者が集い、災害時の活動や使用する船舶、車両、機材などの一般公開、乗車体験などのほか、地元高校生によるミニコンサート、書道パフォーマンスなど様々な取り組みが行われました。

会場には約7千人の方々が来場され、鳥取港を通じて港湾の役割・機能や災害への備えなどを考えていただける取り組みとなりました。



海上保安庁巡視船「おき」の一般公開



海上自衛隊護衛艦「やはぎ」の一般公開



大型輸送ヘリコプター展示飛行



警察・消防・自衛隊の車両、機材などの展示、乗車体験



八頭高等学校ミニコンサート



鳥取東高等学校書道パフォーマンス



満員と行列のグルメエリア



自衛隊音楽隊&青翔開智連によるしゃんしゃん傘踊り

鳥取港振興会は、鳥取港の変遷の年表や鳥取港に運ばれてくるものの展示、寄港予定のクルーズ客船を紹介するパネルを出展し、約600名の来場がありました。鳥取港に運ばれてくるものの展示では、実際の品物に触れていただきましたが、いつまでも触れている子どもの姿も見られました。

今回の出展では、海運による輸出に取り組んでいる潤徳株式会社と連携し、輸出事例のパネルを展示し、海運の紹介も行いました。



鳥取港振興会出展ブース

海運セミナー2026

♪海運で開運♪～もうひとつの輸送手段～開催

令和8年8月7日(金)に輸送手段として海運を知っていただき、鳥取港を活用した海運への機運醸成を図るため、鳥取港振興会会員、鳥取港後背地企業、経済団体、自治体職員等を対象とした海運に関するセミナーを開催しました。昨年度までは鳥取県主催でしたが、今年度は鳥取港振興会主催として初めて開催し、多様な業種から計30名の方にご参加いただきました。

会場は鳥取県漁業協同組合研修室で行い、講演では海運を活用した県産品の輸出や海外への販路開拓に対する取組内容を発表いただきました。講演の中で講師の志岐様からは「輸出において海運は、空輸と比べ費用対効果が圧倒的である」ことや、胡敏様からは「将来的な鳥取港、境港の活用によるコスト削減が輸出拡大の鍵となるのではないか」といったコメントをいただきました。

講演後は賀露緑地公園付近発着で遊覧船(山陰松島遊覧株式会社)による鳥取港の海上見学を実施しました。ここでは鳥取港主要航路切替事業やクルーズ客船誘致の取組をご紹介しました(説明者:鳥取港湾事務所)。参加者からは「輸出事例が学べたよかった」、「食品コンテナ輸出の大変さが改めて分かった」などの感想をいただきました。

引続きセミナー開催などを通じ、海運への理解と関心を深め、鳥取港活用の機運醸成を図ります。



瀬村専務理事による開会あいさつ



講師:志岐 佳之 様
(大山乳業農業協同組合販売部営業課 課長補佐)



講師:胡 敏(フーミン) 様
(潤徳株式会社 代表取締役社長)



鳥取港の海上見学の様子



海上からの鳥取砂丘

鳥取港主要航路切替の進捗状況

第1防波堤延伸(国事業)では、海底にケーソンを据え付けるための基礎捨石工事を実施しています。

第2防波堤延伸(県事業)では、延伸に係る防波堤構造の詳細設計業務を実施しています。詳細設計完了後に基礎捨石工事を発注する予定です。

第3防波堤撤去(県事業)では、既設防波堤撤去に伴う港内静穏度の確認や施工計画の策定などの調査設計業務を実施しています。調査設計完了後に第3防波堤の消波ブロック等の撤去工事を発注する予定です。

千代航路から西浜航路への航路切替を早期に完成させるために必要となる工事や業務が着実に進められています。



既設被覆ブロックの水中玉掛け
(第1防波堤)



既設被覆ブロックの撤去(第1防波堤)



基礎捨石の投入(第1防波堤)

クルーズ客船寄港情報！

① 2年連続 三井オーシャンフジ 寄港

商船三井クルーズ株式会社が運航する「三井オーシャンフジ」が、2年連続鳥取港に寄港しました。

令和8年5月30日(土)と6月19日(金)の2か月連続の寄港となり、鳥取砂丘、砂の美術館ツアーなど鳥取を観光されました。



2年連続寄港の「三井オーシャンフジ」



知事から寄港記念盾贈呈 (5月30日)



歓迎式典記念撮影 (右から市長、知事) (5月30日)



逢鷺太鼓によるお出迎え



しゃんしゃん傘踊りでお見送り

クルーズ客船「三井オーシャンフジ」の概要

- ・船社：商船三井クルーズ株式会社[日本]
- ・総トン数/全長：32,477トン/198.19m
- ・乗客定員/458人 客室229部屋
- ・就航：2024年12月

① クルーズ名：初夏の隠岐・高知クルーズ(神戸発着7泊8日)

5/27(水)神戸発→5/29(金)釜山・韓国→**5/30(土)鳥取**→
5/31(日)隠岐(浦郷)→6/2(火)高知→6/3(水)神戸着

② クルーズ名：初夏の鳥取・釜山クルーズ(博多発着7泊8日)

6/18(木)博多発→**6/19(金)鳥取**→6/20(土)釜山・韓国→6/21(日)博多着

② 初寄港！三井オーシャンサクラ

令和8年10月15日(木)に、9月に就航した商船三井クルーズ株式会社が運航する「三井オーシャンサクラ」がデビュークルーズで鳥取港に初寄港します。三井オーシャンフジの姉妹船となるクルーズ客船です。

三井オーシャンサクラ



※画像はイメージです

クルーズ客船「三井オーシャンサクラ」の概要

- ・船社：商船三井クルーズ株式会社[日本]
- ・総トン数/全長：34,138トン/198.15m
- ・乗客定員/458人 客室229部屋
- ・就航：2026年9月

③ クルーズ名：三井オーシャンサクラ デビュークルーズ～鳥取～(博多発着3泊4日)

10/14(水)博多発→**10/15(木)鳥取**→
10/16(金)釜山・韓国→10/17(土)博多着

鳥取港クリーンアップ作戦

令和8年6月30日(火)に、「鳥取港クリーンアップ作戦」が実施されました。

これは、鳥取港内を清潔に保ち利用しやすい港湾としていくため、港の利用関係者自らが港湾環境美化活動に取り組むものとして毎年度実施されているものです。

鳥取港内で営業されている企業、港湾工事の関係企業、遊漁関係団体、釣具店など29団体から200名を超える参加があり、手分けをして約1時間にわたり港湾エリアの清掃活動を行いました。



「2026賀露白いか祭り」開催

令和8年7月11日(土)と12日(日)に、「2026賀露白いか祭り」がマリンピア賀露で開催されました。今年も2日間開催され、両日とも真夏日の厳しい暑さとなりましたが、多くの来場者で賑わいました。

鳥取港振興会は、鳥取県港湾課、鳥取港湾事務所と連携し、クルーズ客船の紹介などのパネル展示と、「わくわく☆クルーズ・お菓子作り」コーナーを出展しました。「わくわく☆クルーズ・お菓子作り」は行列ができるほど大盛況でした。



RPF初移入

令和8年7月31日(金)に鳥取港8号岸壁でRPFが初荷揚げされました。

RPFは、鳥取港振興会会員の三洋製紙株式会社が、再生可能エネルギーの導入として、令和8年7月から木質・RPFバイオマスボイラーの運転を開始され、環境にやさしい燃料として従来の化石燃料から木質燃料及びRPFへの燃料転換を実現されたものです。

三洋製紙株式会社では、年間10,000トン程度のRPFの取り扱いを予定されています。



全国クルーズ客船誘致受入連絡会参加

令和8年7月7日(火)と8日(水)に、広島県で開催された全国クルーズ客船誘致受入連絡会に、瀬村専務理事、中村事務局長の2名が参加しました。

会場の広島港クルーズターミナルでは広島県の事例発表、シルバーシークルーズのミニ講演などが行われ、五日市ふ頭ではクルーズ客船寄港時の受け入れ対応などを視察し、最近のクルーズに関する状況や港湾利用に対する理解を深めました。



広島港クルーズターミナル



五日市ふ頭視察



鳥取港振興会事務局

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地(鳥取県庁本庁舎5階 港湾課内)

TEL(0857)22-1836 / FAX(0857)22-1848 / E-mail : tottoriport@tea.ocn.ne.jp